

政策提言書を市長へ提出

令和3年1月5日に3常任委員長が、各常任委員会でとりまとめた政策提言書を中野市長へ提出しました。

平成31年2月よりそれぞれの常任委員会で所管する事項から、課題と考えるテーマについて先進地の行政視察や調査研究、委員協議会での議員間の討議を重ね、提言内容の検討をしてきました。

それぞれの常任委員会から提出した提言書の概要は以下のとおりです。



総務文教常任委員会

『「国際平和水産文化都市」としての情報発信』

焼津市は全国有数の遠洋・沿岸漁業の基地として知られているが、歴史・文化面に目を向けても城跡や史跡等多くの価値を持つ文化財も残されている。

また、中心市街地には黒潮温泉、焼津漁港など他にはない魅力あるものも数多くあり、現在建設が進められている、市役所新庁舎、ターントクルこども館などと共に、にぎわいの核となるものと期待される。委員会では、「世界へ広げる国際平和水産文化都市」実現に向けてこれらの焼津市の歴史を知り、文化、地域資源を育み、市内外に情報発信することの提言をする。



市民福祉常任委員会

「豊かな海を子どもたちに手渡そう～やいづプラごみゼロ宣言～」



プラスチックごみによる海洋汚染などの問題は地球規模で深刻化しており、海とともに発展してきた焼津市として、未来を担う子どもたちに豊かな海を手渡すため、調査研究し提言書にまとめた。

焼津市として、適正に処理されずに捨てられるプラスチックごみゼロを目指すことを、市内外に向けて「やいづプラごみゼロ宣言」により発信するとともに、そのため

に行政や市民などが取り組むべきことを「アクション」として、また、子どもたちが未来において社会を担う立場になった時に、プラスチックごみゼロを継続して豊かな海を保ち続けられるように、今から取り組むべきことを「未来へのアクション」として提言した。

建設経済常任委員会

「持続可能なまち・焼津を目指して～焼津ブランドの力～」

地域資源を大いに活用することで「焼津の安心・安全・安定」を支え、「持続可能なまち・焼津」を目指すことをテーマに、「農業」と「海洋深層水」の2項目について調査研究を行い、提言書にまとめた。

農業については、担い手の育成や販路拡大、新たな農業の推進などにより、強い農業を目指して提言した。

深層水については、深層水の魅力を広く内外にPRし、利活用を促進するための取り組みについてまとめ、今後を見据えた展望を提示した。

